

まつど宇宙の学校2回目活動レポート

8月25日(土)、松戸市立新松戸西小学校にて、「水ロケットをつくって飛ばそう!」を実施しました。児童29名(30名のうち1名欠席)と保護者、付添幼児で約65名が参加です。毎年、この時期に、体育館でロケットを作り、校庭で打上げをしていますが、今年は、学校のご好意で、体育館ではなく、冷房がきいた教室で、ロケット作りをしました。



司会の山地さんが今日の流れを説明し、講師の古川さんが水ロケットの飛び仕組みと作り方を説明。



水平に飛ぶロケットは藤井さんが指導。

昨年参加児童は、水平に飛ぶロケット、今年初参加児童は、垂直に飛ぶロケットを作ります。講師の古川章博さんの説明の後、3つの教室に分かれてロケット作り、1時間ほどで完成、最後にロケットの名前を書きます。いよいよ打上げ、意気揚々とロケットを掲げ、校庭の発射台に向います。準備会で、保護者も発射レバーを持ち、打上げ体験したいみたいです、との意見があり、今年は児童が3回と保護者が1回、打上げをしてもらいました。

これが、なかなか好評で、「ロケット作りは親も手伝って作ったので、自分でも飛ばせてとっても嬉しかった。ワクワクしました。子どもを観察しながら、水の量、空気の入れ具合を研究し、子どもより飛ばさなきゃ!と密かに頑張りました。親としては子どもが喜ぶ姿をみるのは1番楽しいですが、娘もわたしが飛ばすところを見るのは楽しかったようで、「ママ頑張れー!高く飛んだね!」とすごく大喜びでした。」との感想をいただきました。

まつど宇宙の学校はキッズボランティアも大活躍です。「自分で作るのは教えてもらえるけど、逆に教えるのはとても難しいことが、よくわかりました。集中していたので、どんなことを教えたのか覚えてないのだけど、とにかくすごく頑張った記憶と、ものすごく楽しかったです。自分で作ったロケットをまだ大切に持っているので、見本で持っていけばよかったなあ、と、思いました。発射台のところは、最後の空気入れは固くて大変だったけど、発射を見るのは楽しかったです。」とのこと、お母さんから、「真剣に皆さんのロケットをみて、ここはこうです、など他の方と話している姿を見ることができ、少し成長を感じられて嬉しかったです。」との声をいただきました。



校庭の発射場で打上げ。